

PRESS RELEASE

2016年12月7日
株式会社三菱総合研究所

日銀短観（2016年12月調査）予測

株式会社三菱総合研究所（代表取締役社長 大森京太 東京都千代田区永田町二丁目10番3号）では、12月14日（水）に日本銀行より発表される予定の「企業短期経済観測調査（日銀短観）2016年12月調査」の業況判断DIについて予測を行った。

大企業・全産業の業況判断DI	————	+ 14%ポイント（9月調査比 +2%ポイント）
同・製造業の業況判断DI	————	+ 9%ポイント（9月調査比 +3%ポイント）
同・非製造業の業況判断DI	————	+ 18%ポイント（9月調査比 変化なし）

業況判断DI（大企業・全産業）は、+14%ポイント（9月調査から2%p上昇）と、6期ぶりの業況改善を予想する。海外需要の持ち直しを背景に、製造業を中心に業況改善を見込む。

製造業の業況判断DI（大企業）は、+9%ポイント（9月調査から3%p上昇）と予測する。素材業種では、商品市況の回復により業況改善を予想。加工業種では、自動車の生産回復や電子部品輸出の改善、足もとの円安の進行などを背景に業況改善を見込む。

非製造業の業況判断DI（大企業）は、+18%ポイント（9月調査から変化なし）と予測する。卸売業や運輸業は、製造業の生産活動の持ち直しにより業況が改善するとみられる。一方、国内消費の不振を背景に、小売業や対個人サービス業、宿泊・飲食サービス業では業況が悪化すると予想する。

先行きの業況判断DI（大企業）は、製造業は+10%ポイントと小幅改善、非製造業は+18%ポイントと横ばいを予測する。国内消費の低迷や海外の政治・経済への不透明感の強まりなどが企業マインドの重石となるものの、国内の経済対策への期待や円安進行による収益改善が業況を下支えすると見込む。

日銀短観（2016年12月調査）業況判断DI 予測結果

「良い」-「悪い」 単位：%ポイント		実績		予測	
		2016年 6月	2016年 9月	2016年 12月	2017年 3月
		6月調査 「最近」	9月調査 「最近」	12月調査 「最近」	3月調査 「先行き」
大企業	全産業	12	12	14	14
	製造業	6	6	9	10
	非製造業	19	18	18	18
中堅企業	全産業	9	10	11	11
	製造業	1	3	5	5
	非製造業	14	15	15	15
中小企業	全産業	▲1	0	0	0
	製造業	▲5	▲3	▲2	▲2
	非製造業	0	1	1	1

注1：シャド一部分が2016年12月調査の予測値。

注2：「先行き」は、調査時点から3か月後を表す。

資料：実績は日本銀行「企業短期経済観測調査」、予測は三菱総合研究所。

《本件に関するお問合せ先》

株式会社 三菱総合研究所 〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目10番3号

政策・経済研究センター 米良有加 田中康就

電話：03-6705-6087 FAX：03-5157-2161 E-mail：yuka_mera@mri.co.jp

広報部 吉澤・渋谷 電話：03-6705-6000 FAX：03-5157-2169 E-mail：media@mri.co.jp

尚、本資料は、内閣府記者クラブ、金融記者クラブに配布致します。